北広島を花いっぱいのまちに

芸術文化ホール前の花植え作業

丹精を込めた松野さん宅の庭

花の会20周年記念フォーラムの様子

北広島市花の会会長を務める

松野　敏さん

まつの・さとし
新富町東在住。
北広島市花の会会長として、花のあるまちづくりに尽力している。毎年夏に、自宅の庭を公開するオープンガーデンを実施。期間中は市内外から多くの人が訪れる。

芸術文化ホール前を飾る

5月末の芸術文化ホール前。北広島市花の会の皆さんが、入り口前で花植え作業を行った。マリーゴールドやベゴニアなど色とりどりの花が、道行く人の目を楽しませる。

花植えの後は、秋まで定期的に水やりや草取り、花殻摘みなどの手入れをしている。

「暑い時期の水やりなどは結構大変ですが、ホールを訪れた方や通勤通学途中の方が、心を和ませてくれたらいいですね」と話すのは、会長の松野敏さん。

会は今年20周年の節目を迎えた。松野さんは会の設立に関わり、10年前に会長職を引き継いで活動を支えてきた。

美しいまちづくりを目指し

40年ほど前から北広島に住み、夫婦で庭づくりにいそしんだ。そんな中、街を花で飾る取り組みを評価する市主催の「花のまちコンクール」に挑戦した。優秀賞を5回受賞し、花飾人（はなかざりにん）の称号を獲得。同時期に花飾人になった仲間と一緒に花のまちづくりを目指し、会の立ち上げに参加した。

賛同する方も増えて現在は会員が110人になった。研修会や鉢植えの出来栄えを競うフラワーコンテストを実施。会員の庭を公開するオープンガーデン見学会を市と共催で行い、花の季節を盛り上げている。

自宅の庭を公開

松野さんはオープンガーデンの時期に、自宅の庭を公開している。市内はもとより、道内外からも多くの見学者が訪れるそう。毎年来てくれる方もいるので、少しずつ花の種類やレイアウトを変えるなど工夫をしている。

「多くの方が見学に来て、昼食も取れないぐらい忙しい時もありました。でも、花を通して知り合いが増え、うれしかったです」と話した。今年もまた、美しい庭で見学者を迎える。今月上旬が見頃のつるバラを、ぜひ見てほしいそうだ。

20周年記念フォーラム

先月、芸術文化ホールで花の会20周年を記念したフォーラムが開かれた。道内外で活躍するガーデニングの専門家を招き、講演会とパネルディスカッションを行った。

松野さんは「花と緑のまちづくりを、市民の皆さんと交流しながら進めたいです」と、フォーラムを締めくくった。

いつも花から元気をもらって癒やされていると話す。地域で花を植える取り組みがもっと広がるように願い活動を続ける。これからも、まちに彩りと安らぎの空間を広げてほしい。

人の絆